

2023年7月7日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 協力会社社員の負傷について

東海第二発電所は、第25回定期事業者検査中（2011年5月21日開始）のところで、2023年7月6日15時19分頃、ランドリーボイラ室（非管理区域）※において、協力会社社員が、弁交換のため緩めていたフランジ部から出た蒸気により負傷したため、救急車で病院に搬送しました。

その後、搬送先の病院において、両足ふくらはぎ等のやけどにより、1週間程度の入院・加療が必要と診断されました。

現在、当該協力会社社員については病院で治療中です。

今後、負傷した原因について調査し、必要な対策を行ってまいります。

※被服の洗濯・乾燥等のために蒸気を供給するボイラ

添付資料：東海第二発電所 協力会社社員の負傷について

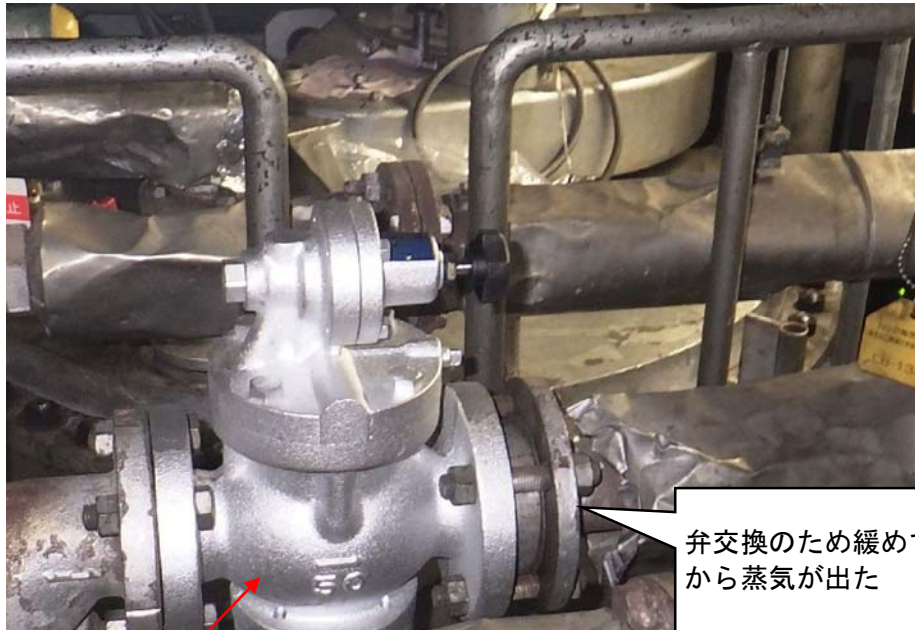
以 上

このページでは、機器の軽度な故障等で、法令の定めでは国への報告の必要がなく、トラブルとされていない情報（保全品質情報※）等を掲載しています。

※保全品質情報：国へ報告する必要のない軽微な事象であるが、設備の信頼性を向上させる観点から電力各社はもとより、産官学で情報共有化することが有益な情報です。

東海第二発電所 協力会社社員の負傷について

【被災時のイメージ】



交換対象の弁※

※弁の大きさ

高さ : 約 16 cm

長さ : 約 21 cm

配管径 : 約 5 cm

弁交換のため緩めていたフランジ部
から蒸気が出た